

プロジェクション機能搭載ラジオLED目ざまし時計

取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
 正しくご使用いただく為に必ずご取扱説明書をよくお読みください。  
 なお、お読みになられたあともいつでももらえるように大切に保管してください。

も く じ	
安全上のご注意	P.73
ご使用になる前に	P.74
各部名称と働き	P.75
主な仕様	P.76
5-in-1 操作ノブ機能	P.76
使用前の準備 リチウム電池の交換について	P.76
現在時刻を設定	P.77
DST設定	P.77
アラームの設定	P.78
時計の便利な使用方法	P.80
アラームタイマーの入/切	P.80
スヌーズを使う方法	P.80
スリープタイマーを使う	P.80
ディスプレイの調光	P.81
FMラジオの設定・操作方法	P.81
外部入力を聴く	P.82
USB端子から外部機器への給電	P.82
ナイトライト	P.83
センサ室の温度と湿度	P.83
Bluetooth接続	P.84
お手入れの仕方	P.85
おかしいな?と思ったら	P.85
製品保証について	P.86





# 安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)





## 図記号の意味と例

	○は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、○の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグ (ACアダプター) をコンセントから抜くこと」を示します。)

## 警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。 電圧の違うところ・自動車・船舶などの直流電源には接続しないでください。 火災・感電の原因になります。	 禁止	雷が鳴り始めたら、ACアダプターに触れない。 感電の危険があります。	 指示	電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う恐れがあります。	
	日本国内以外で使用しない。 本機は日本国内専用です。		本機に対してスプレー式のエアダスターを使用しない。 本機の内部にガスがたまった場合、引火して爆発する原因になります。		取りはずした電池の扱いに注意する。 幼児の手の届かないところに保管してください。電池を口に入れたり、ショートさせたりすると事故の原因になります。	
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。		温度の高いところ、水蒸気が多いところ、湿度が高いところ、直射日光が当たるところ、屋外、振動の多いところに設置しない。 火災・感電故障の原因になります。		使用しないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。	
	電源コードが傷んでいるとき、本体のDCプラグの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		ろうそくなど、炎が出るものを近くに置かない。 炎が近づくと、火災の原因になります。		 プラグを抜く	お手入れのときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。
	ACアダプターを、乳幼児の手のとどくところに置かない。 コードが誤って首に巻きついたりして事故の原因になります。		異常時(こげ臭い・発煙など)はACアダプターを抜き、使用中止する。 火災・感電の原因になります。 ACアダプターをすぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。		 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人には修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。 修理は販売店またはドウシヤお客様相談室(裏表紙参照)にご相談ください。
	子供だけで使用させない、また幼児の手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。				 ぬれ手禁止	ぬれた手で、ACアダプター、DCプラグを抜き差ししない。操作しない。 感電の原因になります。
本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	ACアダプターはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、ACアダプター、DCプラグを抜き差ししない。操作しない。 感電の原因になります。			
強い衝撃を与えたり、本体を落下させたりしない。 衝撃を与えたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、点検修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因になります。	ACアダプターの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合は拭き取る。 ホコリが付着したままACアダプターを差し込むと、ショート・火災の原因になります。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 本機の上に水の入った容器や植木鉢などを置かないでください。 ショート・感電の原因になります。			

# ⚠️ 注意

 禁止	次のようなところでは使わない。 ● ガスコンロなど炎の近く ● 引火性のガスがあるところ ● 雨や水しぶきがかかるところ ● ほこりの多いところ 変色・変形・火災・感電の原因になることがあります。	 禁止	お手入れのときは住宅用洗剤・シンナー・ペンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。	 指示	廃棄するときは、電池を抜く。そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。
	熱のこもりやすい狭い場所、自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。 キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災や感電の原因になります。	上にものをのせたりしない。 内部に入ったとき、感電や火災・故障の原因になります。	音量に注意する。 使用前には音量を最小にするようにし、使用中も音量を大きくしすぎないように注意してください。長時間、耳を刺激する大きな音量で聴き続けると、聴力に悪い影響を与えます。		
	不安定な場所・傾斜のある場所で使わない。 転倒や落下で、けが・故障の原因になることがあります。	電池の極性に注意する。 電池をセットするとき、電池の+（プラス）と-（マイナス）に注意し、正しく入れてください。電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になることがあります。	接続に注意する。 本機の入力端子へ接続した機器の過大信号によっては、本機を傷めたりすることがあります。正しい接続をしてください。		
	指定以外の電池を使用しない。 電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になることがあります。	 指示	持ち運びするときはACアダプターや外部機器を取りはずして、本体の下部を持って移動する。 けが・故障や外部機器の破損の原因となります。		
電池は直射日光が当たる場所など高温になる場所に置かない。 液もれや破裂・火災などの原因となります。	長時間使用しないときはバックアップの電池を抜く。 長時間入れたままにしておくと、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。				

## ご使用になる前に

### ボタン電池について ボタン電池を扱うときには

- ・指定以外のボタン電池は使用しない。
  - ・極性表示を間違えないで挿入する。
  - ・水や火の中に入れたり、充電・加熱・分解・ショートしない
  - ・液漏れがおきたら使用しない。
- ボタン電池はもちろん、本体も液が付いた状態で使用すると危険なため、直接触れずに拭き取るようにしてください。万が一、液が体に付いてしまった場合は、水で十分に洗い流すようにしてください。
- ・長時間使用しないときは、ボタン電池を外しておく。
  - ・使用後は、必ず各自治体の指示に従って処分する。

### FM補完放送について FM補完放送（ワイドFM）

- ・AM放送の放送区域において難聴・災害対策のため、FM放送の周波数（従来の76.1～89.9MHz新たに設定された90.0～94.9MHz）を用いて、AM放送の補完的な放送をしています。
- 本機はFM補完放送に対応しています。
- ※ FM補完放送を実施している放送局、周波数、聴取エリアなどは地域によって異なります。詳しくは各地域の放送局ホームページなどを確認してください。

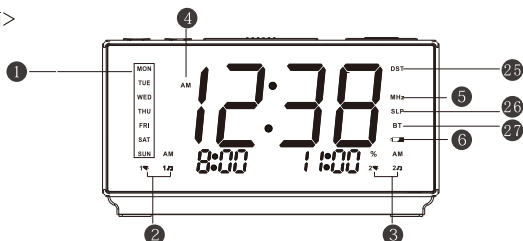
### 免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤った取扱・故障・その他の不都合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

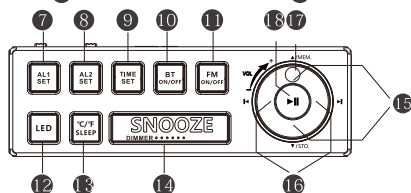
製品の故障・誤動作または不都合による外部機器等への記録された内容の損害及びお客様または第三者が製品利用の機会をのがしたために発生した損害等、付随的損害の補償については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

# 各部の名称とはたらき

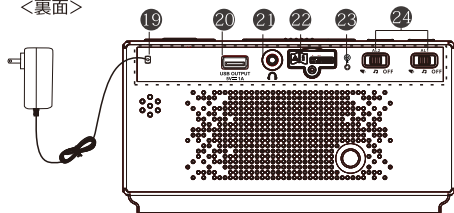
<正面>



<天面>



<裏面>



名称	⑮BT▶▶
正面表示部	裏面部
①曜日表示	⑲ACアダプタ
②アラーム1入/切表示 (ブザー🔊/ラジオ📻)	⑳usb充電ジャック
③アラーム2入/切表示 (ブザー🔊/ラジオ📻)	㉑イヤホンジャック
④AM 午前の表示 (時間)	㉒バックアップ電池ホルダー
⑤Mhz ラジオ受信周波数単位表示	㉓しゅうはすうへんちょうアンテナケーブル
⑥内蔵電池の残量表示	㉔AL1/AL2 プッシュボタン
天面操作部	⑲DST しじしんごう
⑦AL1 アラーム1の設定スイッチ	⑲SLP しじしんごう
⑧AL2 アラーム2の設定スイッチ	⑲BT しじしんごう
⑨TIME/SET時刻設定	
⑩BT ON/OFF	
⑪FM ON/OFF (ラジオ入/切)	
⑫LED ボタンを使用します	
⑬LEEP/°C/°F	
⑭SNOOZE/DIMMER	
⑮上/下/保存/メモリー	
⑯曲-/曲+	
⑰回転式音量調節ボタン	

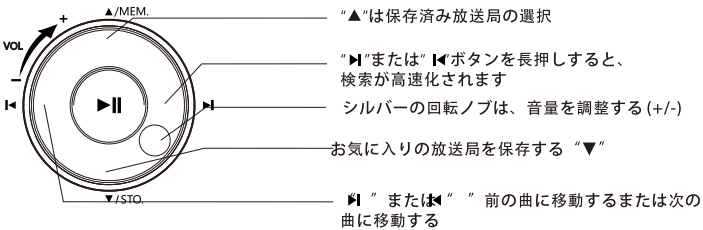
# 主な仕様

電源	ACアダプター AC100V-240V 50/60Hz 出力 DC5V 1.2A
実効出力 (RMS・THD10%)	1W x 2
ディスプレイ	アイスブルー色 1.8インチ
USB 端子出力	DC5V 1.2A (充電専用)
プロジェクション	赤
スピーカー	50mmフルレンジ
チューナー	FM: 76 - 108MHz
外部入力端子	3.5mmイヤホンジャック5 (高) mm
外形寸法	約220 (幅) × 65 (奥行) × 99.5 (高) mm
質量 (ACアダプター込)	約 760g

- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。  
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

## 5-in-1操作ノブ機能

本機の天面には多機能を一つのみで操作可能なダイヤル操作ノブを装備しています。  
(上/下/再生/一時停止/保存/メモリ) ラジオモード時:



## 使用前の準備(その1)

### ■ 梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

- ※本体..... 1個
- ※ACアダプター..... 1個
- ※取り扱い説明書.....1冊
- ※バックアップ電池 (CR2032)動作確認用..... 1個 (本体に装着済)

### バックアップ電池について

本機には、時計用のバックアップ電池が装着済みです。

※ 付属の電池は動作確認用です。新品の電池と比べて短期間で寿命になります。



電池マークが表示されると電池を交換します。

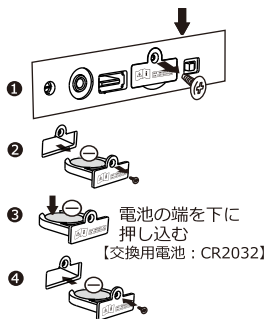
## バックアップ電池の交換

バックアップ電池が消耗するとACアダプターをコンセントから抜いた場合に現在時刻がリセットされます。

バックアップ電池の残量が少なくなると、時刻表示の右下に赤色電池マークが点灯します。

その場合は新しい電池に交換をしてください。

【交換用電池：CR2032】



## 電池交換のしかた

- 1 本体裏面のバックアップ電池ホルダーの固定用ネジをお手持ちのドライバーではずす
- 2 バックアップ電池ホルダーを引き抜く
- 3 電池面の上側が⊖のまま電池の端を押し込んで電池をはずし、逆の方法で電池をホルダーにはめ込む
- 4 バックアップ電池ホルダーを本機に差し込み、固定用ネジを取り付ける



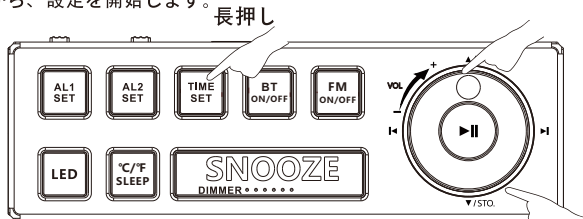
注意 電池の誤飲防止として、電池ホルダーの固定用ネジは必ず取り付けてください。

## 現在時刻の設定

以下の手順で時計を合わせてください。

・時刻を設定するとアラームタイマー機能が使用可能となります。

ACアダプターを接続後、表示が点滅を始め、「初期設定時刻」を表示されます。その状態から、設定を開始します。



・点灯に切替わると設定できませんので、再度「**ⓐTIME・SET時刻設定**」キーを長押しします。

①「**ⓐTIME・SET時刻設定**」を長押ししますと

表示全体が点滅します。

この点滅状態の時に、

「**時間**」設定…「**ⓑSNOOZE** ダウンキー」と「**ⓐ▲/MEM** アップ・メモリーリコール」キーを押して「**時間**」を設定します。

「**分**」の設定…「**ⓐ戻り・次**」キーを押して「**分**」を設定します。

↓設定後、再度「**ⓐTIME・SET**」キーを押す

②「**月**」の設定

この点滅状態の時に、「**ⓑSNOOZE** ダウン」キーと「**ⓐ▲/MEM** アップ・メモリーリコール」キーを押して「**月**」を設定します。

↓設定後、再度「**ⓐTIME・SET**」キーを押す

まず最初に  
表示全体が点滅



### ③「日」の設定

この点滅状態の時に、「⑨戻り・次」キーを押して「分」を設定します。

↓設定後、再度「⑩TIME・SET」キーを押す

### ④「年」の設定

この点滅状態の時に、「⑫操作キー」上の「⑮、⑯、⑰」のいずれかを押して「年」を設定します。

↓設定後、再度「⑩TIME・SET」キーを押す

### ⑤「12 時間表示」か「24 時間表示」を「⑫操作」キー上の「⑮、⑯、⑰」のいずれかを押して設定します。

※ここまで設定した後に、更に「夏時間設定」設定モードが表示される場合は、以下の方法で設定します。

#### 夏時間設定について

日本では、設定必要ありませんので、この機能を「OFF / 切」にしておきます。

①「⑫▲/MEMORY RECALL アップメモリー選択」キーを8秒ほど長押ししますと、表示は右図の様になり、右下の「DST」も点滅します。

②同じく「⑫▲/MEMORY RECALL アップメモリー選択」キーを押して右図の文字が表示される様選択します。

③設定が完了しますと、点灯に変わり、「DST」表示も消えます。



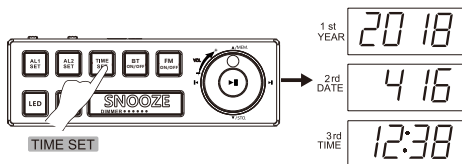
そのまま放置して設定完了

#### 現在時刻とカレンダーをチェックする

「⑩TIME・SET」キーを押すごとに、「日付」→「年」→「時刻」表示に戻ります。

#### 現在時刻とカレンダーをチェックする

「TIME・SET」キーを短く押すごとに、「日付」→「年」→「時刻」表示に戻ります。



## アラームの設定

#### 現在時刻とカレンダーをチェックする

設定前に時間とカレンダーが正しく設定されている事が確認してください。  
(7ページ参照)

#### アラームタイマーを使う

- 本機は2パターンのアラームタイマーを設定することができます。(AL1=アラーム1)と(AL2=アラーム2)
- 設定した時間に、設定したモードで、設定した音量で再生します。(設定音量はラジオ場合のみで有効です)。
- アラームブザーとラジオの音量は、最初は小さく再生し、段階的に大きくなり、最終的20秒ほど後に設定音量となります。

「アラーム起動日を設定します。」



アラーム1入/切表示  
(ブザー /ラジオ )

アラーム2入/切表示  
(ブザー /ラジオ )

表示「AM」となると午前  
の表示です。それ以外  
の場合は、午後  
(PM)を表示し  
ます。

### AL1(アラーム1) を設定する

※ この設定は時刻表示モード時に設定します。  
(FMラジオ時はせつできません)

※ 設定順序は、「時間/分」→「音量設定」→  
「アラーム音の選択」→「アラーム起動日」  
となります



① AL 1/AL 2スライドスイッチをラジオにプッシュ图标またはブザー icon 警報器  
を開く。

ラジオで icon / ラジオ2台 icon LED が点灯し、ウェイクアップラジオ警報器が  
点灯します。

Buzzer の場合 icon / 2ブザー icon ランプが点灯し、ブザーの起動アラームが  
点灯します。

アラームを完全にオフにし、AL 1/AL 2スライドスイッチをオフにします。

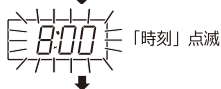
② この点滅状態の時に、  
「操作」キー上の「⑮、⑯、⑳」キーを押して、希望の  
「時間と分」を設定します。



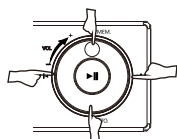
③ この後、更に「AL1 アラーム」キーを押して、  
「ラジオで目覚まし」設定した場合の音量を設定します。  
その時次の表示が点滅します。

(点滅)

ラジオの音量レベルは最大「U15」迄選択可能ですので、  
好みの音量を設定します。



④ この点滅中に、再度「AL1 アラーム」キーを押して、  
起動日を選択します。このキーを押す毎に、  
「毎日→平日(月～金)→週末(土/日)→単独曜日指定」の  
順序で設定可能です。



⑤ 設定後、再度「AL1 アラーム」キーを押して  
「アラーム音の選択」と「入/切」を選択します。  
ラジオ選択 が点灯→ブザー音 選択→  
アラーム「切」アラームアイコンが消えます。  
→再度押しすと、このモードの繰り返しとなります。



⑥ そのまま放置して設定完了です。

「アラーム起動日を設定します。」



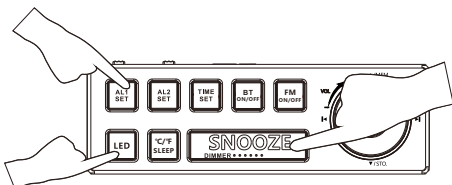
## AL2(アラーム2)を設定する

AL2スライドスイッチをラジオにプッシュ图标またはプザー图标警報器を開く。「AI2 SET」キーを2秒間長押しすると、アラーム時刻の「時刻表示」が点滅します。設定方法は「AL1(アラーム1)と全く同じ方法です。

## 時計の便利な使用方法

### アラームタイマーの入切

アラームを停止するには、設定した「AL1 / AL2 SETキー」を使用するか、または「AL1/AI2 ON/OFF」や「スヌーズ(SNOOZE/DIMMER)キー」を使います。



※ 仮にその場に居合わせずアラームを解除できない場合は、1時間後に自動でアラームが停止します。

設定時に使用した「AL1/AL2SETキーを押してアラームを停止します。次のアラームタイマーになるまでアラームは再び鳴りません。

### 聞き逃しや、寝過ごしを防ぐために。。。

「スヌーズ(SNOOZE/DIMMER)キー」を押して、アラームを停止します。

※ SNOOZE/DIMMERは「休眠」の意味合いから、再度復帰します。

一度押すと一旦、アラームは停止しますが、**9分後に復帰してアラーム音が鳴ります。**



### 完全停止したい場合は。。。

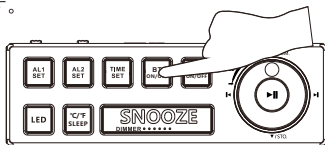
以後このアラーム時間を再利用しない時は、「AL1/AL2スライドスイッチをオフ位置に押しします。(音楽マークとベルマークが消えるまで押しします)

### スリープタイマーを使う

開始から電源を切る(スタンドパイ状態)までの時間を10分間隔で最大90分ラジオまたはBluetoothを聴取します。ラジオまたはBluetoothは、選択した設定時間後に自動的にオフになります。

① 「SLEEP/°C/°Fスリープ」キーを押すと「10」が画面に表示されます、スタンドモードから、10分のカウントダウンでタイマーがオンになります。

② タイマーを延長したい場合は、もう一度「SLEEP/°C/°F」ボタンを押すと、カウントダウン時間が最大90分長くなります。「SLEEPスリープ」キーを押す毎に、10分単位で最大90分迄を選択することができます)



タイマー機能をオフにしたい場合は、画面に「OFF」が表示されるまで「SLEEP/°C/°F」ボタンを押し続ける、または「RADIOON / OFF」

③ を押すだけで直接オフにする。

# 調光

## ディスプレイの明るさの調整

ディスプレイ表示をお好みの明るさに変えることができます。

### ■自動調整機能

周囲の明るさに合わせて自動的に明るさを変えます。

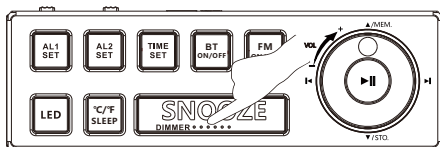
明るすぎて、睡眠の妨げにならないような明るさに自動調整します。

### ■手動で変える

「**ⓐDIMMER 輝度調整**」を押す毎に、4段階の明るさに変わります。

明るさの表示は、

「L3」最も明るい→「L2」中間の明るさ→「L1」最も暗い→「AU」自動→「L3」に戻る。



## FMラジオの設定・操作方法

※ラジオは他家電・電子製品からの雑音の影響を受けやすいので、できる限り、それらの機器から遠ざけてください。

※本機はFMラジオ76～108MHzの受信ができ、FM補完放送(ワイドFM)に対応しています。受信状態が悪いときは、本体裏面のFMアンテナの向きなどを調整してください。

### FMラジオを聴く

①「**FM ON/OFF**」キーを押します。表示部に「Mhz」が表示されます。

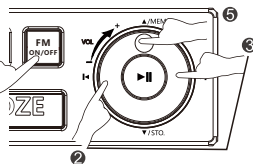
②「**◀ or ▶**」キーを押してラジオのMhzを調整します。

③「**◀ or ▶**」キーを押して希望の放送局を選局します。

押し続ける事が選局がスピードアップします。

④電源を切った際に受信していた放送局が、次回ラジオで目覚ましする時の放送局になります。(これはラジオで目覚ましを設定する時に、任意に放送局を設定する事も可能です。)

⑤ラジオを聴いているときに、5 in 1の回転ノブを回して、ラジオの音量レベルを調整できます。



## 放送局のプリセット設定

※ 合計 20 局迄、記憶設定することが可能です。(P01, P02…P20)

① 電源を入れて時計をオンにして、「**RADIO ON/OFF**」ボタンを押してラジオモードに切り替えます。

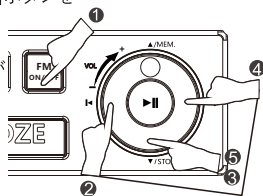
② 「**◀**」または「**▶**」を押して、希望の放送局に選局する。

③ 選局後、「**▼**」ボタンを長押しすると、プリセット番号が点滅で表示されます。

④ 「**◀**」または「**▶**」を押して、希望の記憶させるプリセット番号を選択します。

⑤ もう一度「**▼**」ボタンを押すと、選択したプリセット番号に希望の放送局が保存されます。

上記の手順を繰り返して、他放送局のプリセット設定します。



## プリセット済み局を選ぶ

① 「**FM ON/OFF**」キーを押して、ラジオモードを選択、その後、放送局がディスプレイに表示されます。

「**▲**」ボタンを押して、最後にプログラムされた放送局を呼び出します。

次に、「**◀**」または「**▶**」のいずれかを押して、プリセット番号を選択します。

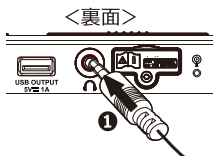
### 自動プリセットするときの注意

- プリセットする前に、窓際などの電波状態の良いところへ移動させてよりよい受信状態できるようにしてください。放送されていない局があり、本来自信できるはずの局を受信できないことがあります。
- プリセットするのは日曜深夜などは避けるようにしてください。

## 外部入力を聴く

イヤホンは3.5mmイヤホンジャックに接続できます。

注意：イヤホンを接続するとスピーカーが無効になるため、アラームを設定した場合は、終了時にイヤホンを取り外すことを忘れないでください。



- 注意**
- 外部機器の接続・取りはずしのときは必ず音量を最小にする。
  - 外部機器の音量を調節できる機器では、適切な音量に設定して使用する。他のモードの音とさほど変化のない音量に設定してください。大きく違った音量に設定されていると、モードを変更するたびに音量を設定しなおす必要があります。
  - 外部機器の取扱説明書を確認し、正しく接続する。

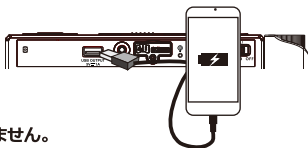
## USB端子から外部機器への給電

本機のUSB端子でスマートフォンや携帯電話の充電をすることができます。

充電をする場合は、充電される機器の電圧/電流に適しているかご確認の上、ご使用ください。

(USB出力の定格は、5V/1.2Aです。)

※ 本機のUSB端子はメディアプレーヤー機能はありません。



## 誤使用による USB 端子に関する免責事項

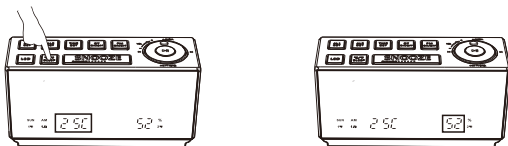
1. 本製品の使用・使用できなかったこと等から生じる付随的な損害、弊社が関与しない機器との組み合わせによる誤動作等から生じた損害に関しては弊社は一切の責任を負いません。
2. 天災・自然災害、第3者による事故、お客様の故意または誤使用、異常な条件下での使用、本書に記載している内容を守らない使用により生じた損害に関しては弊社は一切責任を負いません。

## ナイトライト使用方法

本機には、青色ナイトランプが底面に設置されています。「SNOOZE」を押すと、ライトのオン/オフを切り替えることができます。



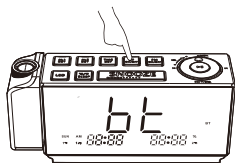
## センサ室の温度と湿度



1. 電源を入れてデバイスをオンにします。室内温度（華氏度または摂氏度）と室内湿度（xx%表示）は常にディスプレイの下に表示されます。
2. 「SLEEP（スリープ）」キーを押したまま、温度を華氏度と摂氏度の間で切り替えることができます。「°C/°F」ボタンをクリックします。

## Bluetooth接続

- **BT ON / OFF** ボタンを押して、Bluetoothをオンにします。(ペアリングの場合、**BT** インジケーターが「点滅」)
- Bluetooth デバイスを有効にして、利用可能な/ペアリングされたデバイスリストからCKS508を選択します。ペアリングが成功すると、本機がプロンプトを表示し、**BT** インジケーターが点灯します。
- 本機とのペアリングに成功したBluetooth機器であれば、自動で接続できます。



- ペアリング後、このBluetoothスピーカーから音楽を再生できます。
- **BT▶||** ボタンを短く押すと、Bluetooth デバイスでのストリーミング再生を一時停止または再開できます。

**注意:** ペアリングに失敗した場合、以前にペアリングされたすべての Bluetooth デバイスは、プロンプトが表示されるまで **BT ON/OFF** ボタンを長押しするか、Bluetooth 接続をオフにして、デバイス間の自動再接続を避ける必要があります。次に、このユニットをBluetoothモードに設定し、携帯電話/デバイスの Bluetoothスイッチをタップしてもう一度オンにして、近くの CKS508 を更新/検索してペアリングします。

# お手入れのしかた



**警告** お手入れの際は、必ず電源プラグ（ACアダプター）を取りはずす  
感電・火災・けがの原因になります。

**お手入れ** ※汚れたときは、柔らかい布で軽く乾拭きしてください。ディスプレイやボタン部分の  
汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取ったあとは乾拭きしてください。  
（樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります）

**保存のしかた** ※長期間使用されないときは、十分にお手入れをして、ボタン電池を  
取りはずして保存してください。



- ベンジン・シンナーでは拭かない。変色や変形の原因になります。
- 本体に水をかけたりしない感電・故障の原因になります。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従って使用する。変色・キズの原因になります。

# おかしいな？と思ったら



**警告** 修理技術者以外の人は分解や修理をしない。

「故障かな？」と思ったらときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
<b>共通部</b>		
電源が入らない ディスプレイが表示 されない	• ACアダプターがはずれている	ACアダプターの接続を確認する
スピーカーから音が出ない	• ③SOURCEモードキーで目的の モードに設定されていない	目的のモードに切り替える
	• 音量が最小になっている	音量を調節する
時計がリセットされる	• バックアップ電池が消耗している	新しい電池に交換する
正常な動作をしない		一度電源プラグを抜いて接続しなおす
音が小さい 音がひずむ	• 外部機器が正しく接続されてい ない	外部機器の取扱説明書を確認して、 正しく接続する
	• 接続している機器の音量が小さ い、または大きい	接続している機器の音量を調節する
<b>ラジオ部</b>		
雑音が入る	• テレビなどが近くにある	テレビなどから離す
	• 電波状態が悪	窓際などで試してみる
		FMアンテナの長さや方向を変更してみる

## 製品保証について

下記商品は、弊社商品であることを証明いたします。  
6ヶ月間の限定条件付き保証期間となります。期間内に故障が生じた場合には、  
当社の判断と規定に基づき、製品交換あるいは無料で修理いたします。

### <保証規定>

1.お買い上げ日から6ヶ月の期間中に取扱説明書に従った正常な使用状態で使用し故障した場合は  
当社の判断で、製品交換あるいは修理致しますが、お買い上げ証明(レシートや領収書など)と  
販売日が記載されているもののみ有効とさせていただきます。

3.次の場合は上記期間内でも対象外となります。

- ・使用方法の誤りによる故障及び損傷
- ・改造や不当(当社以外の第3社による)修理による故障及び損傷
- ・業務用または過酷な条件下で使用した場合の故障及び損傷
- ・お買い上げ後の落下、輸送などによる故障及び損傷
- ・火災、地震、水害、落雷などの天災ならびに公害または異常電圧などの外部要因による故障及び損傷
- ・購入証明が本人ではなく、また書き換えられた場合
- ・消耗品を交換する場合
- ・腐食による損傷および故障
- ・内蔵電池の液漏れによる、損傷や故障
- ・一般家庭以外(例えば業務用、船舶や海上使用など)に使用された場合の故障および損傷

本書は日本国内においてのみ有効です。本書は再発行いたしません。紛失、破損がないように大切に保管してください。保証期間経過後の修理は有料となります。

連絡先: iToma (Hongkong) Company Limited  
info@itoma.com